

## 令和8年産さくらんぼ作柄調査結果

- 1 調査期日 令和8年5月19日（火）
- 2 調査場所 県内主要産地48園地（「佐藤錦」40園地、「紅秀峰」8園地）
- 3 調査結果

○花束状短果枝当たりの着果数は、1.5果  
（前年1.3果、平年1.7果、着果数の数え方は別紙参照）

### 4 収穫の予想

#### （1）収穫量の予想

○予想収穫量は10,200～11,100トン（前年比123～134%）。

【参考】・前年収穫量：8,310t（平成以降最も少ない）  
・過去10年の平均収穫量（最大・最小を除く）：12,100t

- ・結実対策として、ミツバチの導入や人工受粉の実施、切り枝の設置等が例年以上に行われたことに加え、開花期の天候に恵まれたことから、前年より結実が良好であった。
- ・凍霜害や結実対策の実施状況が結実に大きく影響しており、着果程度の園地による差が例年より大きい。
- ・4月9日の降霜により、東根市や天童市、上山市等の一部の地域で被害を受け、着果量が少ない園地がみられる。
- ・双子果の発生は、「紅秀峰」を中心に例年より多い。
- ・なお、予想収穫量には、結果樹面積の減少に伴う収穫量の減少も含んでいる。

#### （2）収穫盛期の見込み

- 「佐藤錦」：6月11日～15日頃（前年より2日程度、平年より7日程度早い）
- 「紅秀峰」：6月17日～21日頃（前年より2日程度、平年より7日程度早い）

### 5 今後の対応

- 6月上旬に補完調査を実施し、降雨や高温等の影響により、今回の予想収穫量から大きな変動が見込まれる場合は、改めて公表する。
- 高品質生産・厳選出荷に向けて、双子果や着果数の多い園地における摘果作業、適切な着色管理、高温対策、適期収穫などの指導を徹底する。

#### 【問合せ先】

山形県さくらんぼ作柄調査委員会事務局  
（山形県農林水産部 園芸大国推進課内）  
課長補佐（果樹振興担当） 安達 栄介  
TEL：023-630-2453  
[広報監] 農林水産部次長 小泉 篤